

令和7年12月定例記者会見

令和7年12月25日



番号	件名	主管部課
1	<u>「宇都宮市人材育成・確保基本方針」の策定について</u>	[行政経営部] 人事課
2	<u>移動販売を活用した交流促進・生活支援事業について</u>	[保健福祉部] 高齢福祉課
3	<u>直結給水施行基準の改定について</u>	[上下水道局] 工事受付センター
4	<u>上下水道ポータルサイト「みや水ポータル」の利用促進について</u>	[上下水道局] お客さまサービス課
5	<u>地区版自治会シンポジウムの開催について</u>	[市民まちづくり部] みんなでまちづくり課
6	<u>「総合治水オープンハウス（越戸川バイパス）」の開催概要について</u>	[建設部] 河川課

※ 上記件名を左クリックしていただくと、該当ページに遷移できます。
(後日、公表資料を市HPにおいて掲載)

令和7年12月定例記者会見

令和7年12月25日



番号	件名	主管部課
7	<u>ライトラインに係る各賞の受賞について</u>	[建設部] LRT整備課 協働広報室
8	<u>「令和7年度宇都宮市健康づくり事業者表彰」について</u>	[保健福祉部保健所] 健康増進課
9	<u>「大学生によるまちづくり提案2025」の開催結果について</u>	[総合政策部] 政策審議室 市政研究センター
10	<u>「2025宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース」の開催結果概要について</u>	[魅力創造部] スポーツ都市推進課 スポーツ戦略室

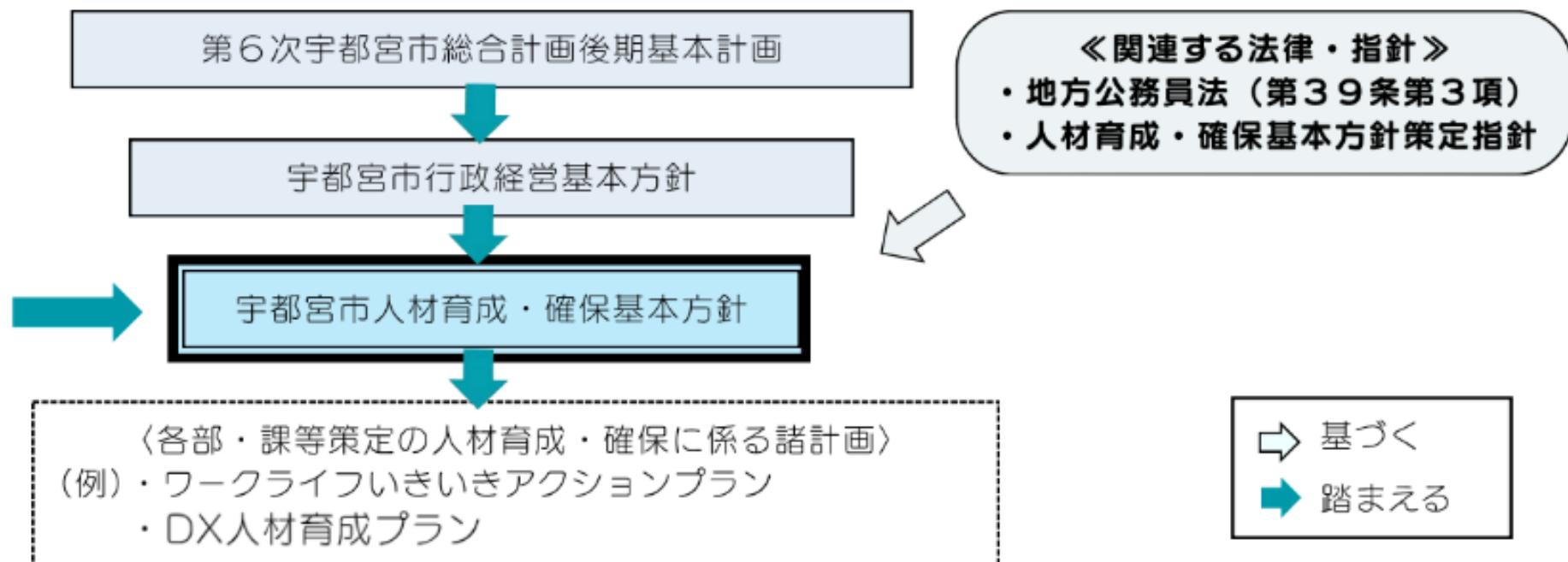
「宇都宮市人材育成・確保基本方針」の 策定について

行政経営部 人事課

『自律・協働・共創型職員』を目指して、 「宇都宮市人材育成・確保基本方針」を策定しました

複雑・多様化する行政課題や地域課題に対応するため、職員の能力向上やキャリア形成支援を強化するとともに、全国的な生産年齢人口の減少や人材の流動化についても重点的に対応していくため、人材確保・定着も含めた「宇都宮市人材育成・確保基本方針」を策定しました。

【方針の位置付け】



【方針の主な特徴】

特徴 1 目指すべき職員像として「自律・協働・共創型職員」を設定

「宇都宮市ミッション・ビジョン・バリュー」の理念を踏まえ、自ら課題を見出し、周囲と力を合わせて解決に取り組む「自律・協働・共創型職員」を「目指すべき職員像」として定めた

特徴 2 女性職員や若手・中堅職員のキャリア形成等の強化

女性職員や若手・中堅職員が目指したいキャリアを形成しながら、成長を実感できるよう、人事部門や管理監督職による支援の強化を取組の柱の1つとして盛り込んだ

特徴 3 「人材の確保・定着」の重点化

生産年齢人口の減少や人材の流動化に対応するため、「柔軟で魅力ある採用戦略」や「人材定着に向けた職員エンゲージメントの向上」等の方策を示した

【方針の概要】

1 目指すべき組織

職員の力を最大限に引き出す組織

互いを尊重して協力し合うことを大切にし、「聞く力」「示す力」「気づく力」を発揮するリーダーのもと、安心できる環境で一人ひとりの力を引き出します。

2 目指すべき職員像

特徴1

自律・協働・共創型職員

本市が目指す職員は、市長のリーダーシップのもと、総合計画に掲げる本市の都市像の実現に向けて、地域や社会が抱える課題に対し、自ら使命と責任を自覚しながら、主体的に考え行動する力を持つとともに、職員同士が互いに尊重し支え合いながら、市民、地域団体、NPO、企業など多様な主体と信頼関係を築き、共通の目的に向かって協働・共創できる職員です。

- ◎ この他、「目指すべき職員像」を実現するために必要な「**職員に求められる行動（職員行動指針）**」や「**職位毎に求められる能力（標準職務遂行能力）**」をそれぞれ示している。

3 人材育成・確保の方策

目指すべき職員像である「自律・協働・共創型職員」を実現するために、5つの取組の柱を設定し、人材育成・確保の方策として展開（一部抜粋）

1 DXの進展や高度化・複雑化する行政課題や地域課題に対応できる職員力の強化

- 専門性向上、ベテラン職員の知見継承（専門資格取得支援、ナレッジマネジメントなど）
- 越境的な学びによる協働・共創力の育成（外部機関、地域団体等との連携による人材育成など）

特徴2

2 女性職員や若手・中堅職員がキャリア形成を図りながら成長を実感できる仕組みづくり

- 自律的なキャリア形成支援の仕組み整備（自己学習支援の充実、庁内公募制度の検討など）
- 女性職員がキャリアパスを描ける環境整備（専門家によるキャリア相談、子育て後のキャリアモデル紹介など）

3 管理監督職の実効的なマネジメント力の向上

- マネジメント力の体系的な育成の仕組みの強化（管理職向け研修の充実など）
- 組織的・効率的なマネジメント支援環境の整備（マネジメント標準化に向けた支援ツールの検討など）

4 安全・安心にいきいきと働ける職場環境の整備と職員のワークエンゲージメントの向上

- 多様な働き方を可能にする柔軟な勤務環境の推進、休暇・休業制度の取得促進（スマートワークの推進など）
- やりがいや意欲を高める制度や待遇の充実（技術職に対する特殊勤務手当の新設など）

特徴3

5 人材獲得競争を勝ち抜く採用戦略と人材定着に向けた職員エンゲージメントの向上

- 優れた人材を確保する多様な採用戦略の展開（通年採用やセカンドチャレンジ採用等の導入など）
- 市職員としての誇りや使命感、連帯感の醸成（本市ミッション・ビジョン・バリューの浸透、定期的なエンゲージメント調査・分析など）

4 今後の主な展開

(1) 行動計画と連動した戦略的な人材育成・確保の展開

本方針を踏まえ、今年度末に策定する諸計画にて、関連する具体的な取組等を示していく。

能力・専門性の向上

「宇都宮市職員研修計画」において、新たに設定した職位毎に求められる能力や専門性の向上に資する研修を企画する。

キャリア形成支援

ワーク・ライフ・バランスの実現

働き方・職場環境整備

「(仮称) 第2次宇都宮市役所ワークライフいきいきアクションプラン」にてキャリア形成支援、ワーク・ライフ・バランスの実現、職場環境整備等に係る具体的な取組を示す。

人材確保

「宇都宮市職員採用計画」において、本市採用試験の受験者増に向けた人材確保についての戦略的な取組を示す。

(2) 宇都宮市職員として働く魅力のPR

本方針を「宇都宮市職員採用サイトU+」で掲載し、市内外の学生や求職者に対して人材育成の考え方や取組を示すことで、本市職員として働く魅力を発信する。

移動販売を活用した 交流促進・生活支援事業について

保健福祉部 高齢福祉課

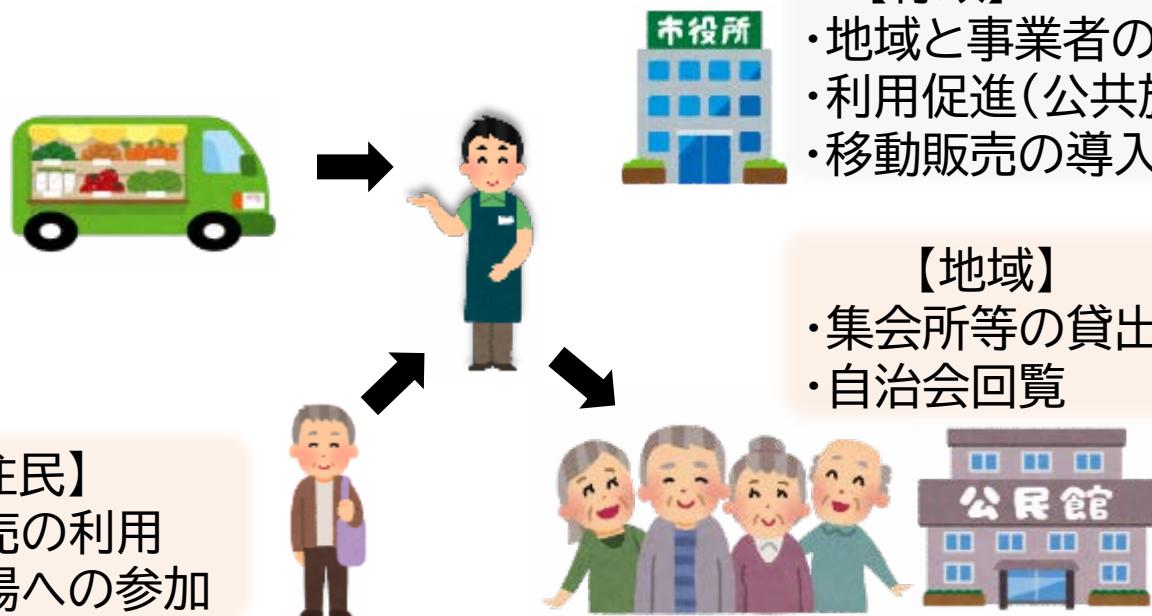
民間事業者との協働により、地域での移動販売を12月から開始！

本市では、高齢者等が閉じこもることなく、身近な場所での買物をきっかけに地域住民と交流できる環境を整備するため、本市が橋渡し役となり、移動販売の誘致を希望する地域と、本市と協定を締結した事業者とのマッチング（実施場所や時間の調整等）を行ってまいりました。

こうした中、12月から宝木地区等において移動販売を開始することとなりました。今後とも、移動販売の実施を通して、高齢者の見守りや生活支援、住民同士の交流促進に取り組んでまいります。

事業イメージ

- 【事業者】**
- ・移動販売の実施
 - ・利用者への声かけ



【行政】

- ・地域と事業者の調整（協議の場の設定等）
- ・利用促進（公共施設の貸出、広報紙やホームページ等）
- ・移動販売の導入支援（車両購入等の初期費用補助）

【地域】

- ・集会所等の貸出
- ・自治会回覧



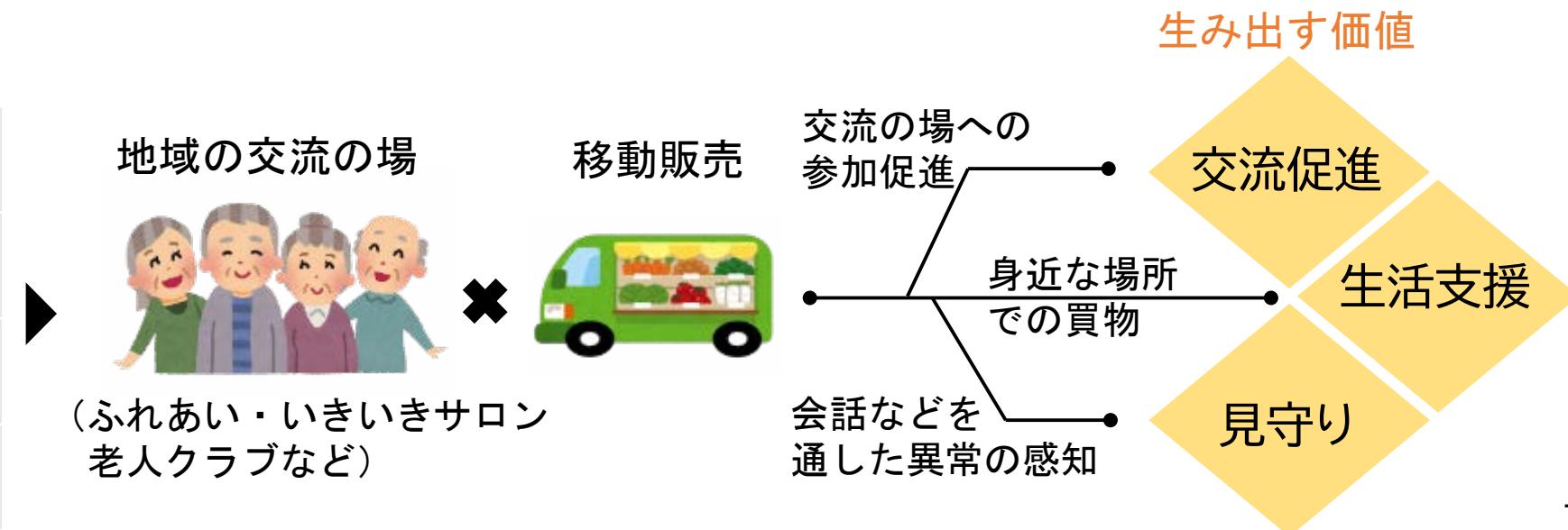
▲12月23日宇都宮市撮影

- 【住民】**
- ・移動販売の利用
 - ・交流の場への参加

1 事業概要

事業名	移動販売を活用した交流促進・生活支援事業
目的	地域住民が絆を深め、共に支え合う「地域共生社会」の具現化に向け、高齢者等が閉じこもることなく、身近な場所で、日常生活に必要な買物（民間の移動販売）をきっかけに、地域住民と交流することができる環境を整備するもの
概要	<p>身近な場所で買物ができる民間の「移動販売」を、地域住民の交流の場（老人クラブやふれあい・いきいきサロン※など）に合わせて実施することにより、地域住民同士の交流の促進と、買物の利便性を高める生活支援、地域の見守り活動に取り組む。</p> <p>※ ふれあい・いきいきサロン：地域の高齢者等が仲間づくりや生きがいづくりを行う場</p>

地域課題
社会参加の機会の不足 (知らない、きっかけがない)
地域とのつながりの低下 (孤独・孤立)
在宅生活・介護の継続 (特に買物など)
地域の担い手不足 (見守りや生活援助)



2 実施場所等について（令和7年12月～）

【誘致希望地域での第一号は宝木地区で開始】

地区	場所	開始日	曜日・時間	事業者	備考
宝木	宝木市営住宅	令和7年12月23日(火)	毎週火曜日 13:20～13:50	株式会社とりせん	市営住宅入居者以外も利用可能

※ 事業者が移動販売を運行している既存ルートを拡充して実施

※ 事業開始後も、実施状況を踏まえ、地域・事業者と実施場所の拡大を検討

※ 12月30日（火）は休み、1月6日（火）は実施

【誘致希望のある以下の高齢者施設で開始】

場所	開始日	曜日・時間	事業者	備考
今泉ケアセンターそよ風 (中今泉4丁目)	令和7年12月17日(水) 入居者以外も利用可能	毎週水曜日 14:00～14:30	株式会社 イトーヨーカ堂	12/31迄実施, 1/7より実施
ケアハウス 滝の原苑 (鶴田町)	令和7年12月23日(火)	毎週火曜日 13:45～14:20	とちぎコープ 生活協同組合	12/30休み, 1/6より実施

※ 事業者が移動販売を運行している既存ルートを拡充して実施

2 実施場所等について（令和8年1月～）

【誘致希望地域での実施】

地区	場所	開始日	曜日・時間	事業者	備考
国本	地区市民センター、 自治会集会所など6か所	令和8年 1月14日(水)	毎週水・金曜日 10:00～	ウエルシア薬局 株式会社	ふれあい・いきいき サロン等と同時開催
中央	地域コミュニティセンター	令和8年 1月27日(火)	第2・4火曜日 10:50～	ウエルシア薬局 株式会社	ふれあい・いきいき サロンと同時開催

※ 実施場所や時間帯は、第2層協議体（自治会などが参画）等と意見交換しながら決定

※ 事業開始後も、実施状況を踏まえ、地域・事業者と実施場所の拡大を検討

【誘致希望のある高齢者施設での実施】

場所	開始日	曜日・時間	事業者	備考
デイサービスセンター（通所介護）や サービス付き高齢者向け住宅など 20か所程度	令和8年1月～ 日程は施設ごとに決定	施設ごとに決定	本市と協定を締 結した4事業者	施設利用者以外も 利用可能予定

3 周知について

市公式ホームページ、広報紙、自治会回覧等

4 今後の取組

移動販売の誘致に向けて意見交換を行っている地区が複数あり、今後、導入効果のPRや導入に向けた地域への支援を行いながら実施地区の拡大を図る。

(参考) 移動販売車両のお披露目式について

本市と「移動販売を活用した交流促進・生活支援事業」に係る協定を締結し、「宇都宮市移動販売導入支援補助金」を活用して、新たに事業を実施するウエルシア薬局株式会社の車両のお披露目式を実施

- (1) 日時 令和8年1月7日（水）、午前11時15分～11時45分
- (2) 場所 宇都宮市役所本庁舎 正面玄関前
- (3) 内容 車両のお披露目（テープカット）、車両の設備・特徴等の説明



移動販売を活用した交流促進・生活支援事業について

参考（宝木地区チラシ）

ご自宅の近くで、買物をきっかけに
あいさつや会話を楽しみ、地域の絆を深めましょう！

令和7年12月23日（火）スタート
年末年始：12/30休 1/6営業

移動販売

毎週火曜日
13:20～
約30分

場所
宝木市営住宅集会所
南方 空き地

【販売品目】
野菜・総菜・弁当・肉・魚・米・パン・
菓子などの食料品
紙類・歯ブラシ・掃除用品などの日用品

【お問い合わせ先】
・事業全般に関すること 632-2904（宇都宮市高齢福祉課）
・販売・商品に関すること 070-4359-6909（とくしま 中山）

この取組は、宇都宮市と株式会社とりせんが協定を結び、
移動販売の実施と地域住民の交流促進、見守りを行うものです。

Special Thanks
宝木団地自治会様にもご協力いただき、回覧による地域の皆様への
お知らせなどを行っていただいているます。

買物時のお支払いは現金のみです。商品1品につき20円（税込み22円）の手数料を頂戴し、
車両のメンテナンス費用や燃料費に充てていますので、ご理解のほどお願いいたします。

12月23日の宝木地区の様子



▲宇都宮市撮影

直結給水施行基準の改定について ～直結給水方式の適用範囲を拡充します～

上下水道局 工事受付センター

“配水管から鮮度そのまま” 直結給水方式の適用範囲を拡充します。
 ~より多くの人に、新鮮な宇都宮のおいしい水道水をお届け！~

本市では、おいしい水道水の更なる飲用促進を図るため、受水槽を通さず直接、水道水を給水する直結給水の普及に取り組んでいます。

この度、より多くの方に新鮮な宇都宮のおいしい水道水を飲んでいただけるよう、直結給水方式の基準を改定し、適用範囲を拡充することで、直結給水の導入を推進してまいります。これを機会にぜひ、中高層階建物の建築を検討されている方、現在の建物の給水設備の更新を検討されている方は、積極的に直結給水方式の導入をご検討ください。

1 直結給水方式とは

直結給水方式は、配水管内の水圧を有効利用し、受水槽を通さず中高層階の建物へ水道水を直接給水する方式

給水方式の種類	直結給水方式		受水槽方式
	直結直圧給水方式	直結増圧給水方式	
給水方法	配水管内の水圧で蛇口まで直接給水する方式	配水管内の水圧をポンプで増圧し、より高い階の蛇口まで直接給水する方式	配水管の水を受水槽に貯めて、ポンプを使い蛇口まで給水する方式
適用建物	低中層建物に適用	中高層建物に適用	一時に多量の水を使用する施設、高層建物に適用

2 基準改定の概要

		改定前	改定後
建物の上限階数	直結直圧給水方式	概ね3階建て程度まで	概ね 4階 建て程度まで
	直結増圧給水方式	概ね10階建て程度まで	概ね 13階 建て程度まで
日最大使用量	40 m ³ (約40世帯分)		50 m³ (約50世帯分)
受水槽方式と直結増圧給水方式の併用*	不可		可

* 受水槽方式の建物の一部に直結増圧給水方式で給水が可能となる。

例1) 低中層階：直結給水 + 高層階：受水槽

例2) 水飲場：直結給水 + トイレ：受水槽

* 現地の配水管口径等の要件により、直結給水方式を適用できない場合があります。

3 基準改定により期待される効果

- 新鮮なおいしい水道水の飲用が可能
- これまでより高い建物、大きい建物で直結給水が可能
- 受水槽やポンプのダウンサイ징化が可能

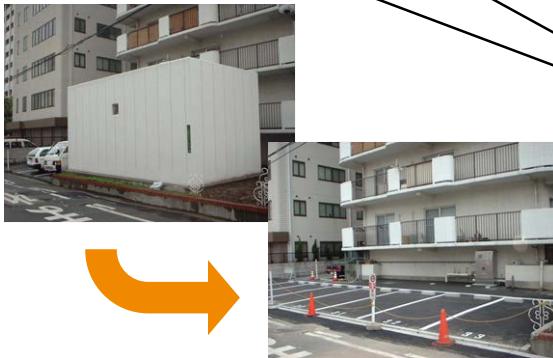


直結給水施行基準の改定について

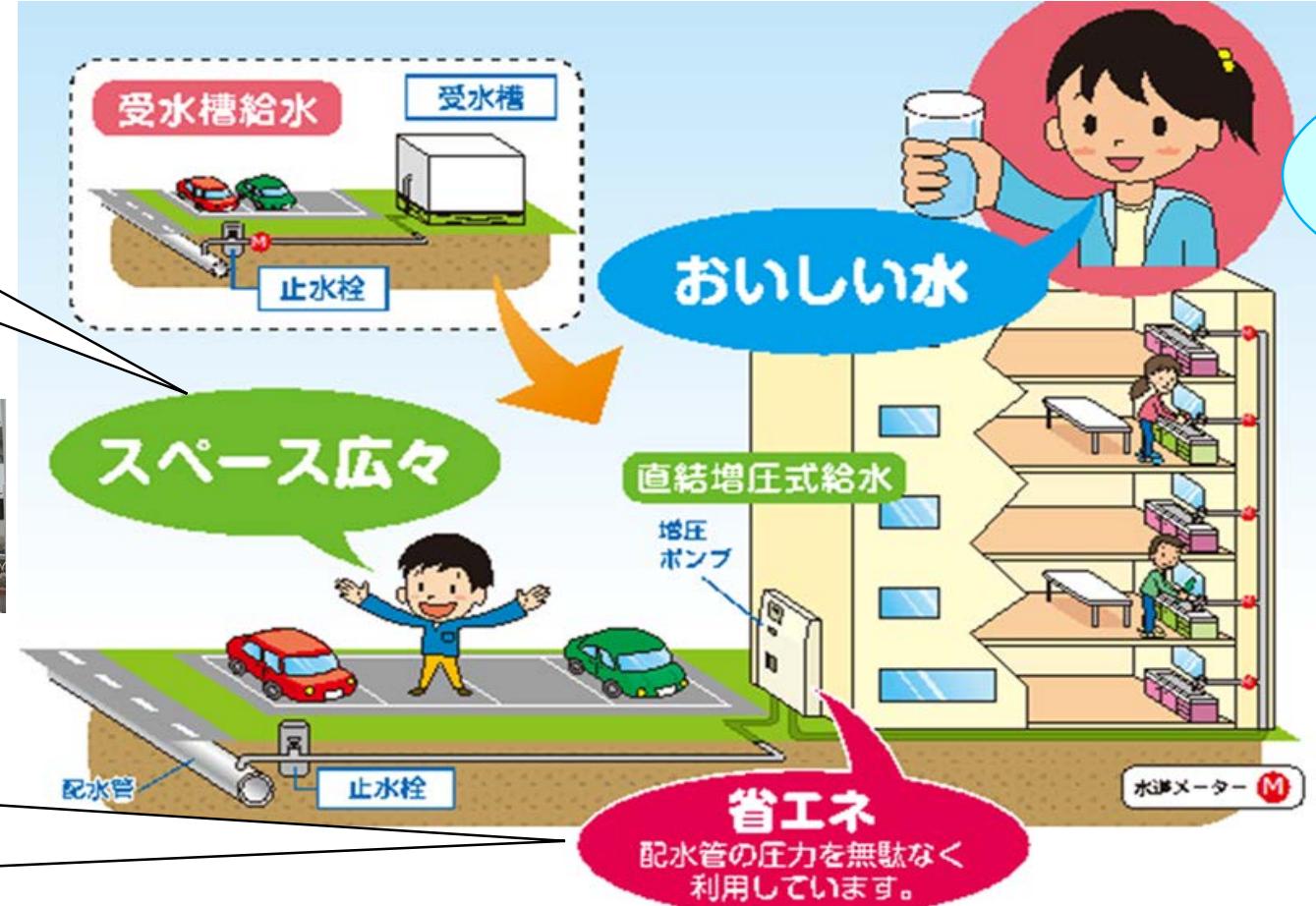
4 新基準の運用開始日

令和8年4月1日より運用開始

受水槽の廃止や小型化が可能となり、土地を有効に活用できます。



配水管の水圧を有効利用するので、ポンプの小型化など、省エネにつながります。



これまでよりも、高く、大きい建物で、新鮮な水道水が飲めるようになります。

※ 詳細は、上下水道局工事受付センターへお問い合わせください。



上下水道ポータルサイト「みや^{すい}水ポータル」の 利用促進について ～登録キャンペーンの延長と登録会を実施～

上下水道局 お客様サービス課

いつでも・どこでも上下水道料金・使用水量の確認などができる 「みや水ポータル」に登録しよう！

お客様サービスの向上や、DXの推進による経営効率化のために導入した「みや水ポータル」は、現在、約46,000人（市内水道利用者の約2割）の方にご利用いただいております。

こうした中、更なる利用促進を図るため、ご好評をいただいている、電子マネー等500円分をプレゼントする登録キャンペーンを延長して実施するとともに、市役所本庁舎や地区市民センター等での登録会も実施していきますので、この機会に是非ご登録ください。

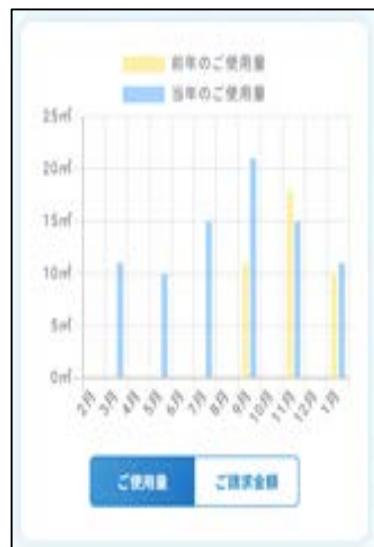
使用開始・休止申込
などができます！



料金等の確認
ができます！



グラフで前年との
比較ができます！



災害に関する情報
なども受け取れます！



利用者満足度：97%
(令和7年9月アンケート結果から)



※台風に注意※
防災情報メールの登録をお願いします。

宇都宮市では、災害時に必要な情報を「登録制防災情報メール」でお知らせしています。
登録は無料で、お手持ちのスマートフォンから簡単に手続きできますので、いざという時に備え、ぜひご登録ください。

1 登録キャンペーンの延長

(1) 概要

令和7年10月まで実施していた「みや水ポータル」登録キャンペーンを延長し、
令和8年2月20日（金）までに登録いただいた方へ、電子マネー等プレゼント（令和8年3月上旬）

(2) 登録特典

PayPayマネーライト、WAONポイント、Amazonギフトカード、dポイント、nanaco、楽天Edy、
モバイルSuicaなどの電子マネー等500円分

2 「みや水ポータル登録会」の実施

(1) 概要

検針票と合わせ利用促進のチラシを配付し、登録会場で、「みや水ポータル」の便利さを
実演により知っていただくとともに、その場で登録すると特典がもらえるスペースを設置

(2) 期間

令和8年1月5日（月）～2月20日（金）

令和7年度末 目標登録者数：5万人

(3) 会場（詳細は次ページ）

上下水道局（常設）、市役所本庁舎（5日間）、全地区市民センター等（各1日）

(4) 登録特典

クオカード500円分（電子マネー等500円分も選択可）



(参考) 登録会場・期間・受付時間について

(1) 上下水道局 1階

期 間：令和8年1月5日(月)～2月20日(金)
 ※土日祝日除く
 受付時間：9:00～16:00

(2) 市役所本庁舎 1階

期 間：令和8年2月16日(月)～2月20日(金)
 受付時間：9:00～13:00

(3) 地区市民センターなど (1会場1回・右表参照)

期 間：令和8年1月16日(金)～2月20日(金)
 受付時間：10:00～14:00

開催日	登録会場
1月	16日(金) 東市民活動センター
	20日(火) 宝木出張所
	21日(水) 瑞穂野地区市民センター
	22日(木) 清原地区市民センター
	26日(月) 城山地区市民センター
	27日(火) 陽南出張所
	28日(水) 上河内地区市民センター
	29日(木) 中央市民活動センター
	30日(金) 河内地区市民センター
2月	2日(月) 西市民活動センター
	3日(火) 南市民活動センター
	4日(水) 北市民活動センター
	5日(木) バンバ出張所
	10日(火) 篠井地区市民センター
	12日(木) 雀宮地区市民センター
	13日(金) 富屋地区市民センター
	16日(月) 姿川地区市民センター
	17日(火) 豊郷地区市民センター
	18日(水) 平石地区市民センター
	19日(木) 横川地区市民センター
	20日(金) 国本地区市民センター

上下水道ポータルサイト「みや水ポータル」の利用促進について

3 利用促進による効果

(1) お客様サービスの向上（令和7年9月に実施したWEBアンケート結果より）

- ・ 使用水量がグラフで表示され、前年度の比較も容易にでき、節水意識の向上に繋がる。
- ・ スマートフォンでいつでも・どこでも上下水道料金等が確認できる。
- ・ 紙の削減により環境にも優しい。
- ・ 検針完了のお知らせや口座振替完了のお知らせが届くのが便利であり、イベントのお知らせなど、暮らしに役立つ情報が届くのが嬉しい。

⇒ 利用者満足度 97%

(2) 業務の効率化

- ・ 従来、電話や紙で受付していた上下水道の使用開始・休止などの手続きを、「みや水ポータル」から行っていただくことで、水道料金システムに自動で連携され、事務処理が迅速化するとともに、正確性が向上します。
- ・ 「みや水ポータル」登録者に従来、紙で通知していた検針票や納付書などを電子通知に変更することで、印刷や郵送に係る費用の削減が図られます。

【削減効果（令和7年度末登録見込数（5万登録）から試算）】

検針票の削減：年間 約30万通・約200万円

納付書の削減：年間 約6万通・約540万円

上下水道ポータルサイト「みや水ポータル」の利用促進について

4 更なる業務の効率化

上下水道料金に係るお知らせなどの紙通知については、その性質等を踏まえ必要性を検討しており、令和8年6月から、以下の紙通知を廃止します。

【紙通知の廃止】

紙通知	年間通数	廃止時期	備考
口座振替結果のお知らせ	約74,000通	令和8年5月末	<ul style="list-style-type: none"> ・「みや水ポータル」登録者はスマートフォン等で確認可 ・「みや水ポータル」未登録者は預金通帳により確認可

(年間 約660万円削減)

⇒ 「みや水ポータル」の登録状況等に応じて、引き続き、紙通知の削減等による業務の効率化に取り組んでまいります。

地区版自治会シンポジウムの開催について

市民まちづくり部 みんなでまちづくり課

地区版自治会シンポジウムの開催について

一緒に自治会の新しいカタチや地域のつながりの可能性を考えましょう！

令和6年2月に開催した全市版の「自治会シンポジウム」に続き、より地域に根差した課題に対応するため、今年12月から市内を5つのブロックに分けた地区版シンポジウムを開催しています。

このシンポジウムでは、ブロックごとに設定したテーマをもとに、自治会の特徴的な取組の紹介やテーマセッションを行うとともに、今年4月に施行した「宇都宮市地域で支え合う自治会条例」の説明や、各地区の魅力PRブースを設置するなど、持続可能な自治会づくりに向けた様々な取組を紹介しています。

こうした取組を通じて、自治会の新しいカタチや地域のつながりの可能性を市民の皆様とともに考え、最も身近なコミュニティである自治会の活性化を図ってまいります。

1 開催日・テーマ・会場

ブロック	日時	テーマ	会場
北部	令和7年12月22日(月) 午後2時～4時30分	事業者との連携	河内地区 市民センター
南部	令和8年 1月14日(水) 午後2時～4時30分	市民参加による 防災活動	瑞穂野地区 市民センター
東部	令和8年 2月20日(金) 午後2時～4時30分	次世代担い手の 掘り起こし	東市民 活動センター
西部	令和8年 2月24日(火) 午後2時～4時30分	新しい取組の始め方	姿川地区 市民センター
中央	令和8年 3月13日(金) 午後2時～4時30分	マンション住民への 働きかけ	総合コミュニティ センター

テーマは
各ブロックの
自治会長が選定



12月22日に開催した地区版自治会
シンポジウム（北部）
△参加者数：約120人

地区版自治会シンポジウムの開催について

2 主な内容

「宇都宮市地域で支え合う自治会条例」の説明や各ブロックのテーマに関する取組事例紹介、テーマセッション、各地区の魅力PRブースの設置、参加者による交流会など



魅力PRブースの様子（12月22日開催：北部ブロック）

3 定員

約100名／回 ※当日参加も可

4 主催

宇都宮市自治会連合会、宇都宮市



「総合治水オープンハウス（越戸川バイパス）」の 開催概要について

建設部 河川課

入れるのは今だけ！！ 地下河川を見学してみませんか？！

本市では、「総合治水・雨水対策推進計画」に基づき、河川整備などの「流す」取組、調整池などの「貯める」取組、ハザードマップの周知啓発などの「備える」取組を推進しています。

その「流す」取組である河川整備のひとつとして、現在、越戸川のバイパス工事を進めており、この度、近隣の小学校や自治会、一般の方を対象に、本市の総合治水事業や越戸川バイパス工事の事業概要などを説明するオープンハウスを開催します。

今回は、通常入ることのできない地下河川の中で、プロジェクトを使用した事業概要説明や地下河川の探検、また、見学の記念にトンネルの壁面にメッセージや絵などを書くイベントも実施します。

一般の方は事前の申し込みが必要となりますので、多くの方のご応募をお待ちしております。



オープンハウスを
工事現場で行うのは
本市初！

「総合治水オープンハウス（越戸川バイパス）」の開催概要について

開催概要

1 日 時

令和8年1月16日(金)～17日(土) 9:00～15:30 小雨決行

16日 午前：峰小学校(3年生：約90名)

午後：近隣自治会(南ふたば、峰向原、東峰、東峰南、東峰竹)

17日 一般参加(全5回 各回20名、1回約45分) ※要申込

2 場 所

宇都宮市峰4丁目1付近 工事現場

3 応募期間(17日の一般のみ、定員100名先着順)

令和7年12月15日～令和8年1月13日まで

4 応募方法

応募フォーム、または、市河川課(632-2689)に電話

5 対象者

市内に在住、通勤、通学されている方(現場の仮設階段をご自身で昇降でき、地下内の閉所も問題無い方)

小学生は保護者の同伴をお願いします。

6 内 容

宇都宮市の総合治水事業等の説明、越戸川バイパスの工事現場見学(地下河川)

トンネル壁面へのお絵描き



市ホームページ



応募フォーム



ライトラインに係る 各賞の受賞について

建設部 LRT整備課 協働広報室

ライトラインの取組が評価されました！

この度、ライトラインが、バリアフリー公共交通のモデルケースとして、全国の地方都市における公共交通整備を後押ししているなど、バリアフリー化の推進に向けて多大な貢献があったと認められ、「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の「内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

また、利便性の高い公共交通ネットワークの実現が、他地域の模範となるような顕著な功績があるとして「交通関係優良団体大臣表彰」を受賞しました。

1 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰「内閣総理大臣表彰」

(1) 表彰式

日時：12月24日（水）

場所：内閣総理大臣官邸（東京都千代田区）

(2) 受賞者

宇都宮市 芳賀町 宇都宮ライトレール株式会社

(3) 功績概要（内閣府ホームページ「受賞事例集」要約）

設計段階より、視覚障がい者団体等の意見を伺い、利便性の高い仕様を多数実現し、全国のバリアフリー公共交通のモデルケースとして、地方都市における公共交通整備の取組を後押ししている。



表彰式

・バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰とは、バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績のあった者を顕彰し、優れた取組を広く普及させることを目的とし、実施しているもの

2 交通関係優良団体大臣表彰

(1) 表彰式

日時：12月15日（月）

場所：国土交通省（東京都千代田区）

(2) 受賞者

宇都宮市 芳賀町

(3) 功績概要

子どもから高齢者まで誰もが移動しやすく暮らし続けられる「ネットワーク型コンパクトシティ」を実現するため、地域拠点、産業拠点、観光拠点等を繋ぐ基幹公共交通として、令和5年8月よりライトラインの運行を開始し、利便性の高い公共交通ネットワークを実現するなど、地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。



表彰式

- ・交通関係優良団体大臣表彰（地域公共交通部門）とは、優良事例の情報提供等を図ることを目的に、地域公共交通に関する取組が他地域の模範となるような顕著な功績がある団体を表彰するもの

(参考) 過去の主な受賞歴

2023/1/20	JIDAデザインミュージアムセレクションvol. 24
2023/10/25	グットデザイン賞「グッドフォーカス賞」（地域社会デザイン）
2024/2/2	日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞
2024/2/6	第33回栃木県イメージアップ貢献賞
2024/4/12	第45回国際交通安全学会賞 業績部門
2024/5/23	2024年ローレル賞
2024/5/23	令和5年度全建賞
2024/10/16	第23回日本鉄道賞特別賞(LRT雷都未来特別賞)
2025/3/18	第18回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰
2025/3/24	令和6年度関東運輸局地域交通優良団体等表彰
2025/4/7	第33回 地域環境大賞 環境大臣賞
2025/6/5	第37回全国街路事業コンクール(国土交通大臣賞)
2025/6/6	2024年度 日本都市計画学会(石川賞)

「令和7年度宇都宮市健康づくり 事業者表彰」について

保健福祉部保健所 健康増進課

「令和7年度 健康づくり事業者表彰」の18事業者を決定! ～事業所ぐるみの健康づくりが、健康経営の原動力に～

女性の
健康づくりを
重視!

従業員の健康づくりに積極的に取り組む市内事業者を表彰する「健康づくり事業者表彰」において、今年度から、「女性活躍」の取組を推進するため、新たに、女性特有の健康課題の解決に向けて、評価基準において、女性の健康づくりに関する視点を明確化し、18事業者を決定しました。

今後、他事業者にも広く波及するよう、受賞事業者の「乳がん・子宮がん検診の費用補助」、「敷地内禁煙」、「女性の健康オンラインセミナーの動画配信」等の取組事例を、各種広報媒体を活用しながら幅広く周知し、働く世代の健康づくりにつなげてまいります。



令和6年度受賞事業者の活動の様子



※リハビリ専門職による「ストレッチ体操」を実施している様子



※社内に設置された血圧計で血圧を測定している様子

【健康づくり事業者表彰の目的】

働く世代の健康づくりを推進するためには、事業者自らが主体的に従業員の健康づくりを担うことが重要であることから、積極的な取組を進めている市内の事業者を表彰し、その取組内容を広く周知することで、働く世代の健康増進を行う健康経営の契機とするなど、社会全体の健康づくりの意識醸成を図るもの

「令和7年度宇都宮市健康づくり事業者表彰」について

1 表彰基準

市内に事業所を有する事業者で、従業員の健康づくりについて、労働安全衛生法等に定められている取組を遵守した上で、さらに下記の①～④全ての項目において積極的な取組を行っていること



- ①特定健康診査・
がん検診の受診勧奨



- ②たばこ対策



- ③心の健康づくり



- ④運動、食生活の改善、
女性特有の健康課題への取組
またはその他の健康づくり

評価の視点
の明確化

2 応募状況

令和7年9月1日～10月10日の募集期間中に18事業者が応募
(女性に関する取組を行っている事業者は8事業者)

3 選考経過

宇都宮労働基準監督署や宇都宮商工会議所などの外部委員を含む
「宇都宮市健康づくり事業者表彰選考委員会」において選考



宇都宮市健康づくり事業者表彰

【参考】

<平成30年度事業開始以降の表彰事業者数>

182事業者

(継続事業者数：176事業者、継続率：96%)

過去に受賞された事業者については、2年に1度、取組内容の報告を受けインセンティブ継続の審査を実施

<表彰事業者のインセンティブ>

- ・事業者名やその取組を様々な媒体でPR
- ・入札参加資格審査項目の加点対象
- ・「うつのみやCSRまちづくり貢献企業」の認証項目対象
- ・ハローワーク求人票へ受賞歴を記載
- ・オリジナルロゴマークの使用

「令和7年度宇都宮市健康づくり事業者表彰」について

4 表彰事業者 18事業者（建設業、製造業など）※ 事業者名は五十音順

No.	事業者名	主な取組内容	従業員数	No.	事業者名	主な取組内容	従業員数
1	株式会社宇都宮空調	女性特有の検診費用の全額補助や人間ドックの費用補助、インフルエンザ予防接種の全額補助	8	10	スタンレー電気株式会社 宇都宮サテライトセンター	子宮頸部細胞診、乳がんの検査費用補助、前立腺がんの検査費用補助、禁煙外来の費用補助	108
2	宇都宮塗料工業株式会社	任意健診の費用補助や従業員が利用できるスポーツジムとの契約を締結	28	11	株式会社ダイセキMCR	腫瘍マーカー検査(CEA, CA19-9, CA125)の費用補助、事業主との面談を実施(年2回)	93
3	宇都宮農業協同組合	新入社員研修会でのメンタルヘルス研修や職員間の交流を図るウォーキング大会を実施	593	12	有限会社竹中運送店	再検査の受診勧奨、社内に血圧計を設置	20
4	AIS総合設計株式会社	再検査の個別の受診勧奨、専門相談窓口として顧問社労士(女性)へ依頼	37	13	トヨタウッドユーホーム株式会社	乳がん・子宮がんの検査費用補助、前立腺がん・肺がんの検査費用補助、自転車通勤者に月2,000円を支給	568
5	キヤノン株式会社 宇都宮事業所	法定外の血液検査項目を全年齢において実施するほか、女性の健康オンラインセミナーを動画配信	3,700	14	株式会社長嶋組	定期健診時の追加検査費用の全額補助、朝礼でラジオ体操を実施	16
6	協進設備工業株式会社	屋外喫煙所の利用時間の制限(休憩時間のみ使用)や、朝礼前にラジオ体操を実施	11	15	日豊工業株式会社	敷地内禁煙、長時間労働者に対する面談の実施	46
7	株式会社 熊谷工業	乳がん、子宮がんの検診費用を全額補助、健診結果をもとに保健師による指導を実施	10	16	株式会社美工電気	再検査の個別の受診勧奨、男性職員の生理痛体験セミナーへの参加	41
8	幸洋運輸株式会社	40歳以上の脳MRI、若年層健診、特定健康診断の実施、24時間対応可能な健康相談の実施	24	17	株式会社広野冷熱工業	敷地内禁煙、会社負担による懇親会の実施	13
9	栄商事株式会社	人間ドックやがん検診費用の一部補助、ストレスチェック及び高ストレス者に産業医との面談を実施	38	18	株式会社マスケン	再検査の予約日調整のフォロー、喫煙所の利用回数制限(1日3回まで)	14

5 表彰式

(1) 日 時 (予定)

令和8年1月20日（火）

午後2時00分から午後3時00分まで

(2) 会 場

宇都宮市保健所 大会議室



※令和6年度の表彰式の様子



宇都宮市健康づくり事業者表彰

6 今後の取組

- ・ 表彰事業者の取組を、市ホームページ「職場における健康づくり応援サイト」、市公式LINE、市公式X、広報紙などで紹介
 - ・ 取組内容をまとめた「宇都宮市健康づくり事業者表彰取組事例集」を作成
⇒ 宇都宮市地域・職域連携推進協議会の構成団体である宇都宮商工会議所などとの連携により、多くの市内事業者に取組事例を周知し、働く世代の健康づくりを促進
- ※ 宇都宮市地域・職域連携推進協議会で開催する「働く人の健康づくり講演会（令和8年1月22日）」において、受賞事業者の取組を発表予定

「大学生によるまちづくり提案2025」の 開催結果について

総合政策部 政策審議室 市政研究センター

大学生によるまちづくり提案発表会を開催しました！ ～「ほっこりした宇都宮」をテーマに8団体が提案を発表～

学生が本市のまちづくりについて意見を表明する機会の創出と、学生ならではの視点やアイデアをまちづくりに活かすことを目的に「大学生によるまちづくり提案 2025」の発表会を開催しました。

「ほっこりした宇都宮～デジタル社会における温かい人間関係～」を課題とし、宇都宮市内の5大学8団体がまちづくりの提案を行い、発表会には約100人が来場しました。

1 発表会の概要

(1) 開催日・会場

令和7年12月12日（金）

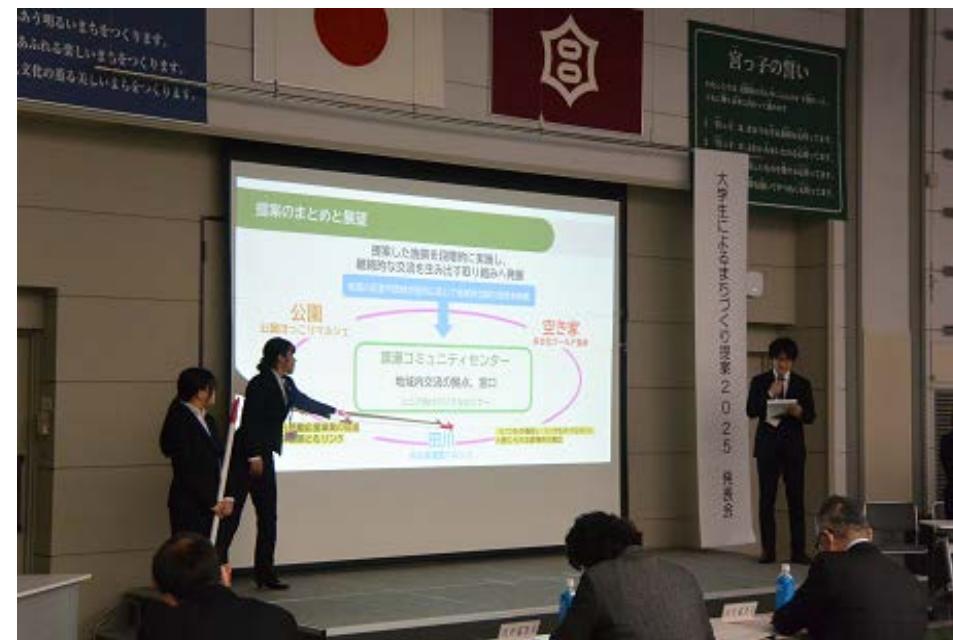
宇都宮市役所 14大会議室・14C会議室

(2) 来場者数

市民・市職員・大学関係者 等 約100人

(3) 審査方法

口頭発表やポスターセッションを行い、
審査員（4名）による審査と来場者投票により選考



提案発表（口頭発表）

2 審査結果（優秀提案）【全8団体】

	提案名	提案団体名
第1位	みんなのたまり場プロジェクト ～世代や属性を超えた温かい交流の場の提案～	宇都宮大学 建築計画研究室 佐藤ラボ

【提案概要】

地域における互助の関係性が希薄化する中で、従来の自治会のあり方だけでは地域のつながりを再生・維持することが難しくなっていることから、現代に即した新たなかたちで互助の関係性を再構築することを目的として、地域の誰もが目的の有無にかかわらず、利用・滞在できる「みんなのたまり場」を設置し、宇都宮市全体へ展開する「みんなのたまり場プロジェクト」を提案。



2025.12.14

宇都宮大学 建築計画研究室 佐藤ラボ

「大学生によるまちづくり提案2025」の開催結果について

2 審査結果（優秀提案）【全8団体】

	提案名	概要	提案団体名
第2位	築瀬あつたかリンク事業 ～地域をひらく、心をつなぐ ほっこり居場所ネットワーク 構想～	既存の様々な居場所をより活用するために、地域の空き空間活用の仕組みづくりと、イベントを通じた多主体の交流拠点づくりを行おうとする提案	宇都宮共和大学2年 三浦ゼミ×「地域お助け隊」連合研究会
第3位	大谷観光エリアにおける地域資源 の活用とネットワークの再構築 ～回遊性の創出と営みによる 拠点形成～	大谷観光を担うプレイヤーである、（観光産業の）担い手・観光客・住民同士の関わりが希薄化していることから、地域資源のつながりや、プレイヤー同士が関わりあえる拠点の形成を図ることによって、人間関係の構築や地域の周遊性の創出しようとする提案	宇都宮大学 遠藤研究室
特別賞 （※）	オリオン・ワンダーランド	オリオン通りを大学と行政が協働で「【遊び】がある場」として再編し、「ウォーカブル」なエリアへ刷新しようとする提案	宇都宮市創造都市研究センター 魅力都市研究グループ

※ 特別賞：上位3位以外の提案の中から、特に審査員の印象に残った提案を選定

※ 全団体の提案概要については「別紙」のとおり

○ 発表会後の取組

- ・ 市役所本庁舎 1 階市民ホールにおいて、全団体のポスターを展示（12月22日から26日）
- ・ 優秀提案 3 団体と市長との意見交換会を実施（1月15日・予定）
- ・ 各団体からの提案については、庁内関係部局で共有を図り、学生の自由で柔軟なアイデアを今後のまちづくりに活かしていく。



集合写真



ポスターセッション

「2025宇都宮ジャパンカップ サイクルロードレース」の開催結果概要について

魅力創造部 スポーツ都市推進課 スポーツ戦略室

世界トップ選手の走りに13万人以上が熱狂！ ～アジア最高位のワンデイレースを通して「自転車のまち宇都宮」を全世界に発信～

「自転車のまち宇都宮」が世界に誇る自転車ロードレース「宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース」を10月17日（金）～19日（日）の日程で開催しました。

32回目を迎えた今大会は、アジア最高位のワンデイレースにふさわしいハイレベルなレースが展開され、クリテリウム・ロードレースの両レースとも史上最速タイムを記録しました。

また、子どもたちによる「キックバイク大会」や「クリテリウムパレードラン」に加え、女子選手による「ウィメンズクリテリウム」を新たに開催するなど、幅広い方が参加できる多彩な付帯レース・関連イベントを展開しました。

こうした取組を通して、3日間で134,800人が来場し、経済波及効果は過去最高の35億8,100万円にのぼるなど、本市に大きな賑わいを創出したとともに、「自転車のまち」としての本市の魅力を全世界に発信しました。



▲9/17都内記者発表会



▲10/17チームプレゼンテーション



▲10/18クリテリウム



▲10/19ロードレース

1 大会結果（詳細は別紙のとおり）

(1) 宇都宮ジャパンカップクリテリウム（UCI公認競技）※14回目の開催

日 程	場 所	優勝者【国籍：チーム名等】
10月18日（土）	大通り周回コース (15周33.75km)	ジョナタン・ミラン【イタリア：リドル・トレック】 ※初優勝、タイム39分58秒・平均時速50.7km

⇒ クリテリウム連覇中の「リドル・トレック」が集団をコントロールしながらレースが進み、最後のゴールスプリントでは、今年の「ツール・ド・フランス」でポイント賞を獲得した世界最速スプリンターのジョナタン・ミラン選手が大会史上最速タイムで制し、チームとして6連覇を果たすなど、多くの来場者で盛り上がった。

(2) 宇都宮ジャパンカップロードレース（UCI公認競技「プロシリーズ」）※32回目の開催

日 程	場 所	優勝者【国籍：チーム名等】
10月19日（日）	森林公園周回コース (14周144.2km)	レニー・マルティネス【フランス：バーレーン・ヴィクトリアス】 ※初優勝、タイム3時間30分00秒・平均時速41.2km

⇒ 「ワールドチーム」が序盤からハイペースな走りを見せる中、最終周回の古賀志林道の登り坂で鋭いアタックを決めた22歳の若手クライマーであるレニー・マルティネス選手が大会史上最速タイムで初優勝を勝ち取ったほか、山岳賞（12周回）やU23最優秀選手賞も獲得するなど、会場内は大いに盛り上がった。

◎ 国際自転車競技連合（UCI）の評価

競技の安全性、選手へのおもてなし、大会の情報発信等に優れており、「パーフェクトな大会運営である」との高い評価をいただいた。

2 主な取組結果

(1) 多彩な自転車関連イベントの展開

- ・ **女子選手を対象とした「ウィメンズクリテリウム」の開催** 新規

⇒ 女子選手10名が参加した大通りを3周回するクリテリウムを新たに開催し、地元A s t e m o 宇都宮ブリッヅェンの下部育成チームブラウ・ブリッヅェンの岡本彩那選手が優勝を飾り、大会を盛り上げた。

- ・ **市内小中学生を対象とした「クリテリウムパレードラン」の実施** 拡充

⇒ 昨年度を上回る41名の市内小中学生に参加いただき、クリテリウム出場選手等とパレードランを行い、地元で開催される国際大会を体感いただいた。

- ・ **バーチャルサイクリングサービス「ROUVY（ルービー）」のオンライン宇都宮ジャパンカップコースを活用したイベントの実施** 拡充

⇒ オリオン通り内に開設した宇都宮ジャパンカップミュージアムにおいて、オンラインで宇都宮ジャパンカップコースを走行できるイベントを大会前までの毎週末実施し、3日間で56名の方々に体験いただいた。
(実施日：10月5日（土）、6日（日）、11日（日）)



▲今年度より新たに開催した
「ウィメンズクリテリウム」



▲41名の市内小中学生が参加した
クリテリウムパレードラン



▲宇都宮ジャパンカップミュージアムでの
「ROUVY」を活用したイベント

(2) 国内外に向けたプロモーションの展開

- **GPSトラッキングシステムを活用した選手の位置情報のリアルタイム配信** 拡充
 - ⇒ 配信対象を関係者から一般来場者に拡大し、ロードレースを走る選手の位置情報をスマートフォン等でリアルタイムに配信し、好評を得た。
- **デジタル広告等による大会プロモーションの実施**
 - ⇒ ・ JR宇都宮駅・ライトライントラック停留所のデジタルサイネージ等を活用し、利用者への幅広い周知を行った。
 - ・ 大会オリジナルラッピングライトライントラックを運行した。（7月19日～11月30日）
 - ・ 関東自動車と連携したラッピングバスを2台運行した。（9月16日～10月31日）
- **ドローンを活用したハイクオリティなレース映像の制作・配信**
 - ⇒ 19日（日）のロードレースにおいて、ドローンを活用したハイクオリティなレース映像を制作し、リアルタイムに配信した。



▲GPSトラッキングシステム



▲大会オリジナルラッピング車両
(ライトライントラック・バス)



▲ドローンを活用したレース映像の制作・配信

(3) 環境に配慮した持続可能な大会運営（宇都宮ライトパワー株式会社との連携）

- **動画放映による環境配慮行動の啓発** 新規

⇒ クリテリウム・ロードレース会場やオリオンスクエアの大型ビジョン等を活用し、来場者に向けて環境配慮行動促進動画を放映した。

- **大会関連物品におけるリサイクル素材やリユース容器の活用** 新規

⇒ 飲食ブースで提供する容器にリサイクル素材を活用したとともに、VIPエリアでリユースカップを使用した。また、ロードレース会場までシャトルバスや自転車で来場された方を対象に大会オリジナルエコバックをプレゼントする企画を実施し、環境に配慮した来場を促進した。



宇都宮ライトパワー株式会社

▲「ゼロカーボンアクションパートナー」として
環境負荷軽減に向けた取組を推進



▲大型ビジョン等を活用した動画放映
(環境配慮行動促進動画)



▲リサイクル素材等の活用



(3) 環境に配慮した持続可能な大会運営（宇都宮ライトパワー株式会社との連携）

- ・ **来場者用シャトルバスにおけるEVの活用** 新規

⇒ 大谷コネクトからロードレース会場までの来場者用シャトルバス1台にEVを活用した。
(乗車数：199名)

- ・ **大会開催に伴う温室効果ガスの「カーボン・オフセット」の実施** 拡充

⇒ これまでの来場者用シャトルバスに加え、出場チームの移動に使用するバスやレース中に走行する競技車両などから排出される温室効果ガスについても実質ゼロにする「カーボン・オフセット※」を強化した。
※ 温室効果ガスの排出量を、他の場所で実現した排出削減・吸収量（クレジット）を購入するなどして相殺する（オフセット）こと

- ・ **大会の情報発信におけるデジタル化（ペーパーレス化の推進）** 拡充

⇒ 大会ホームページやSNS等のコンテンツの充実を図るなど、デジタルを活用した情報発信を強化し、これまで発行していたチラシ等の紙媒体を削減した。



▲シャトルバスのEV活用



▲紙資源の削減
(チラシ・大会プログラム)

3 開催による効果

(1) 地域経済の活性化

項目	2025年（第32回）	2024年（第31回）
経済波及効果	<u>35億8,100万円</u>	<u>35億2,600万円</u>
来場者数 (内訳)	計 <u>134,800人</u>	計 <u>134,800人</u>
・チームプレゼンテーション	4,800人	4,800人
・クリテリウム	54,000人	53,000人
・ロードレース	76,000人	77,000人

過去最高

⇒ 今大会においては、両日ともに天候に恵まれたことで昨年度同様13万人以上が来場し、会場内は大きな盛り上がりを見せたとともに、宿泊客による飲食費、宿泊費の平均消費額が向上したことに伴い、経済波及効果は過去最高額となった。

(2) 大会を通じた本市の魅力発信

過去最高

項目	2025年(第32回)	2024年(第31回)
パブリシティ効果	<u>9億1,150万円</u>	<u>8億4,492万円</u>
デジタル広告視聴回数※(視聴率) 《内訳》	計 550,322回	計 294,713回
・プロモーションムービー	523,332回 (69.21%)	275,499回 (56.46%)
・プロモーション画像	26,990回 (0.11%)	19,214回 (0.11%)
※15秒間完全視聴した回数		
大会フォトグラファーとの連携によるSNS発信回数(視聴回数)	458回 (約3,602,486回)	316回 (約3,441,636回)
大会映像再生回数(LIVE) (内訳)	計 71,707回	計 60,572回
・チームプレゼンテーション	11,004回	5,279回
・クリテリウム	15,831回	15,519回
・ロードレース	44,872回	39,774回

◎ 宇都宮駅東口交流広場のほか全10か所のデジタルサイネージを活用した広告表示回数：54,633回

⇒ 昨年度に続き、大会フォトグラファーと連携したSNS発信を実施したほか、デジタルを活用した情報発信を強化したことにより、プロモーションムービーの視聴回数が約2倍に増加したとともに、大会当日のライブ映像の再生回数も増加し、過去最高のパブリシティ効果を獲得することができた。